

2023年（令和5年）下期 景気動向調査結果

和歌山商工会議所

～景況感は緩やかな回復傾向にあるものの先行き不安定
「仕入・原材料単価の上昇」「人手不足」が継続的な課題～

- 目 的 : 当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間 : 2023年7月1日から2023年12月31日（2023年（令和5年）下期）
- 調査実施期間 : 2023年12月15日から2024年1月19日
- 調査方法 : 郵送によるアンケート方式
- 調査対象 : 常議員・議員・副会長・女性会・青年部・振興委員等550事業所
- 回答数 : 回収数 143 （回収率 26.0％）

業種		従業員数	0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	合計
製造業			8	11	10	6	14	49
非製造業	建設業		1	7	5	1	1	15
	小売業		8	2	2	1	2	15
	卸売業		5	3	2	2	2	14
	サービス業		9	7	8	5	6	35
	その他業		2	2	3	1	7	15
合 計			33	32	30	16	32	143

● 概 要
2023年下期（7月～12月）の景況感は、主要指標である業況、売上、採算の各DI値を見ると、製造業では業況DIは前期比でマイナスとなったがプラス域で推移（好転、やや好転）、同様に売上DIも前期比でマイナスとなったがプラス域（増加、やや増加）で推移、採算DIでは前期比でプラスとなったがマイナス域（悪化、やや悪化）で推移した。製造業における採算DIは4期連続でマイナス域で推移しており、「原材料高」や「賃上げ」などの影響から、利益率の圧迫が続いている状況が伺えた。非製造業では業況DIは前期比でプラスとなり2期連続で好転傾向、売上DIは前期比でマイナスとなったがプラス域（増加、やや増加）でほぼ横ばいに推移、採算DIでは小売業、サービス業、その他業で前期比で好転傾向を示し、その要因として「運賃交渉」や「価格改定」など価格転嫁への取組が利益率の確保に繋がっていることが伺えた。

直面する課題（10ページ）として、非製造業では「従業員・熟練技術者の確保難」が「仕入・原材料単価の上昇」を上回り最大の課題として挙げられた。製造業では、前期に引き続き、「仕入・原材料単価の上昇」が最大の課題として挙げられ、次いで「需要の停滞」、「従業員・熟練技術者の確保難」が挙げられた。非製造業のうち、建設業では前期において新たに上位課題として挙げられた「下請負単価の上昇」が今期は最大課題に浮上。小売業、卸売業では前期に引き続き「仕入・原材料価格の上昇」、サービス業とその他業では「従業員・熟練技術者の確保難」がそれぞれ最大の課題として挙げられた。総じて、「仕入・原材料単価の上昇」と「従業員・熟練技術者の確保難」は全ての業種で上位課題として挙げられ、地域事業所にとっての恒常的な課題となっていることが伺えた。

先行きについては、製造業では今期に引き続き悪化傾向の見通しを示し、「景気の落ち着き、停滞」などを要因としてマイナス域（悪化、やや悪化）に転じる見通しとなった。非製造業は全体としてわずかに悪化傾向を示したものの、建設業では「リフォーム物件の増加」や「確定している受注がある」、小売業では「自動車登録が進む予想」や「新規顧客獲得」などを理由に今期比で大きく好転する見通しとなり、非製造業全体を押し上げた。結果、全業種ではプラス域（好転、やや好転）で推移したものの、「仕入・原材料価格の上昇」や「人手不足」など懸念材料を払拭できない中、今後も不安定な状況が続く見通しとなった。

皆様から寄せられた企業、業界の取組み（抜粋）	
●製造業	
・DXの推進	・新事業領域の拡大
・人材教育により生産性を高め、採算アップに取り組む	・外注品の内製化
・付加価値のある商品開発	・BtoCによる販路開拓
●非製造業	
・インバウンド向け事業を展開	・新規取引の開拓
・SNS活用の推進	・福利厚生の実施
・DX化による生産性向上	・2024年問題への対応
・職人の確保・育成	・脱炭素経営、DX・GX化の更なる推進

※「DI値」とは
ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、景気動向を示す指標。「好転（やや好転を含む）」、「増加（やや増加を含む）」、「上昇（やや上昇を含む）」したとする企業割合から、「悪化（やや悪化を含む）」、「減少（やや減少を含む）」、「低下（やや低下を含む）」したとする企業割合を差引いた値。

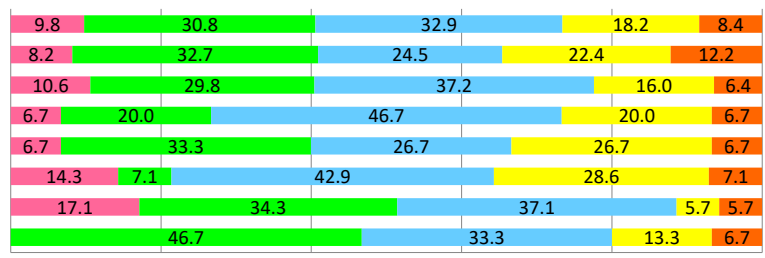
【業況DI値】

今期(2023年7月～12月)のDI値

全業種	(今期 14.0 前期比 0.6)
製造業	(今期 6.3 前期比 ▲0.9)
非製造業	(今期 18.0 前期比 2.2)
建設業	(今期 0.0 前期比 11.0)
小売業	(今期 6.6 前期比 28.0)
卸売業	(今期 ▲14.3 前期比 ▲14.3)
サービス業	(今期 40.0 前期比 ▲15.5)
その他業	(今期 26.7 前期比 6.7)

(業況)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

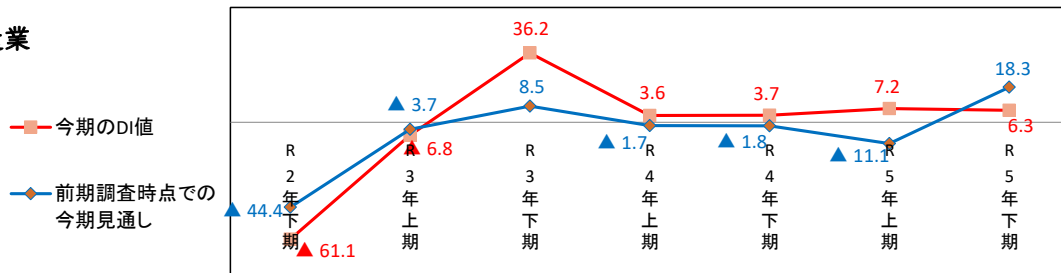
今期(2023年7月～12月)の状況

業況DI値は、製造業で6.3(前期比▲0.9)、非製造業で18.0(前期比+2.2)、全業種で14.0(前期比+0.6)となり、非製造業では、小売業が前期比で大幅にプラスに転じるとともに、建設業も前期比でプラスとなりマイナス域(悪化、やや悪化)から脱した。小売業の好転理由として、「コロナ5類移行後の客足の増加」や「メーカーからの商品供給の改善」などが挙げられた。また、サービス業は前期比でマイナスとなったものの大きくプラス域(好転、やや好転)で推移しており、要因として「コロナ5類移行後の入国者数の増加」や「イベント開催などが少しずつ回復」など、徐々に経済活動が活発化していることが寄与していることが伺えた。

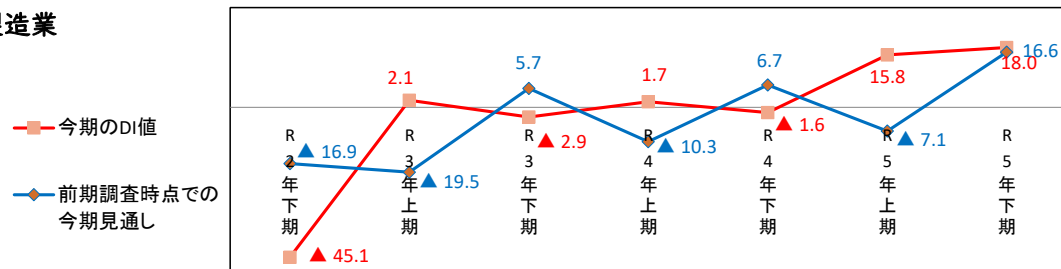
※前期比とは、前回調査(令和5年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業



非製造業

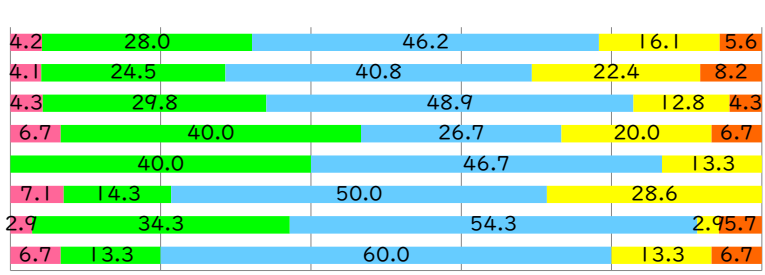


来期(2024年1月～6月)の見通しDI値

全業種	(見通し 10.5 今期比 ▲3.5)
製造業	(見通し ▲2.0 今期比 ▲8.3)
非製造業	(見通し 17.0 今期比 ▲1.0)
建設業	(見通し 20.0 今期比 20.0)
小売業	(見通し 26.7 今期比 20.1)
卸売業	(見通し ▲7.2 今期比 7.1)
サービス業	(見通し 28.6 今期比 ▲11.4)
その他業	(見通し 0.0 今期比 ▲26.7)

(業況)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期と比較した来期(2024年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業では8.3ポイント悪化の▲2.0、非製造業では1.0ポイント悪化の17.0、全業種で3.5ポイント悪化の10.5と見通している。製造業の悪化、やや悪化の要因として、「ペーパーレス化による売上減への懸念(印刷業)」や「景気の落ち着き、停滞」などが挙げられた。一方、非製造業における建設業では「リフォーム物件の増加」や「確定している受注がある」、小売業では「自動車登録が進む予想」や「新規顧客獲得」などを理由に今期比で大きく好転する見通しとなり、非製造業全体を押し上げた。

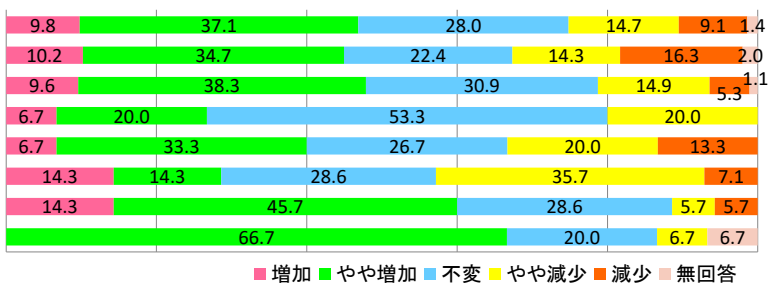
【売上DI値】

今期(2023年7月～12月)のDI値

全業種	(今期 23.1 前期比 ▲2.6)
製造業	(今期 14.3 前期比 ▲5.8)
非製造業	(今期 27.7 前期比 ▲0.5)
建設業	(今期 6.7 前期比 6.7)
小売業	(今期 6.7 前期比 3.1)
卸売業	(今期 ▲14.2 前期比 ▲35.9)
サービス業	(今期 48.6 前期比 ▲15.9)
その他業	(今期 60.0 前期比 44.0)

(売上)

(単位:%)



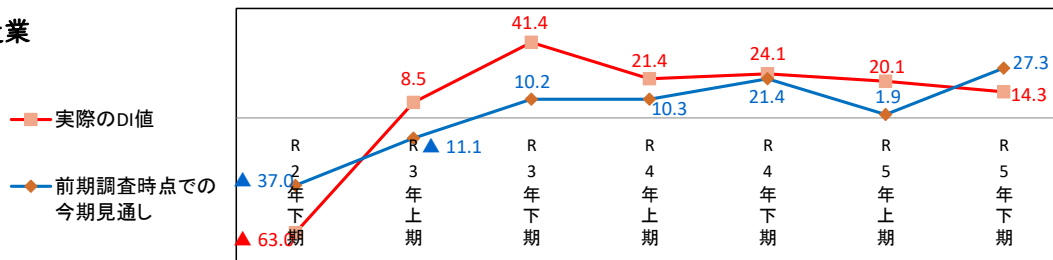
今期(2023年7月～12月)の状況

売上DI値は、製造業で14.3(前期比▲5.8)、非製造業で27.7(前期比▲0.5)、全業種で23.1(前期比▲2.6)となり、前期比でマイナスとなったものの、非製造業では卸売業を除く全ての業種がプラス域(増加、やや増加)で推移した。前期比で大きく増加傾向を示したその他業では、「営業努力」や「従業員のスキルアップ」など自助努力が売上増に繋がっていることが要因として挙げられた。

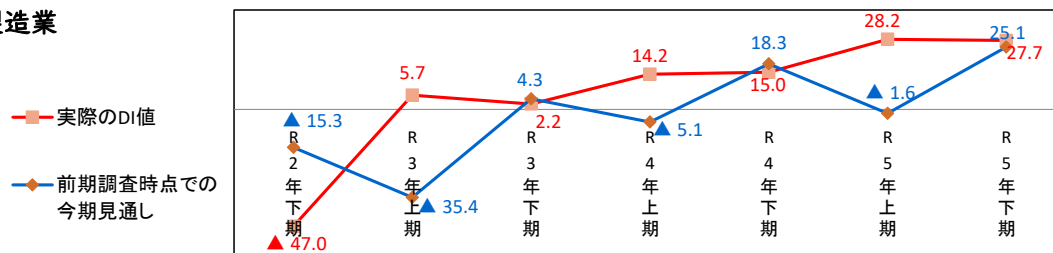
※前期比とは、前回調査(令和5年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業



非製造業

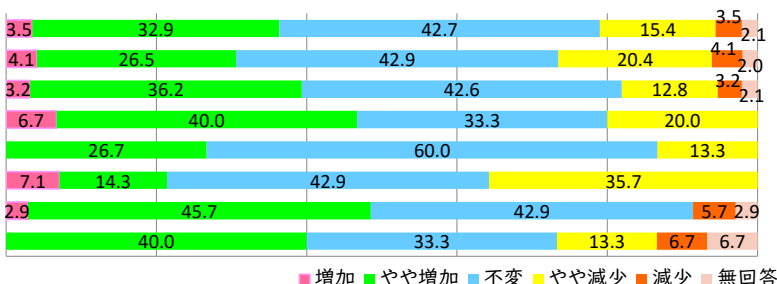


来期(2024年1月～6月)の見通しDI値

全業種	(見通し 17.5 今期比 ▲5.6)
製造業	(見通し 6.1 今期比 ▲8.2)
非製造業	(見通し 23.4 今期比 ▲4.3)
建設業	(見通し 26.7 今期比 20.0)
小売業	(見通し 13.4 今期比 6.7)
卸売業	(見通し ▲14.3 今期比 ▲0.1)
サービス業	(見通し 42.9 今期比 ▲5.7)
その他業	(見通し 20.0 今期比 ▲40.0)

(売上)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

今期と比較した来期(2024年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で8.2ポイント悪化の6.1、非製造業で4.3ポイント悪化の23.4、全業種で5.6ポイント悪化の17.5と見通している。非製造業のうち、とりわけ建設業と小売業では今期に引き続き増加傾向が示され、今後も回復傾向が堅調に推移する見通しとなった。

【 採算DI値 】

今期(2023年7月～12月)のDI値

(採 算)

(単位:%)

全業種	(今期 7.0 前期比 10.6)	6.3	28.0	37.1	18.2	9.1	1.4
製造業	(今期 ▲6.1 前期比 1.2)	6.1	24.5	30.6	20.4	16.3	2.0
非製造業	(今期 13.9 前期比 16.1)	6.4	29.8	40.4	17.0	5.3	1.1
建設業	(今期 ▲6.7 前期比 ▲12.3)	6.7	20.0	40.0	26.7	6.7	
小売業	(今期 6.7 前期比 28.1)	6.7	26.7	40.0	20.0	6.7	
卸売業	(今期 0.0 前期比 ▲4.3)		21.4	57.1	21.4		
サービス業	(今期 25.7 前期比 23.4)	8.6	34.3	40.0	14.3	2.9	
その他業	(今期 26.7 前期比 26.7)	6.7	40.0	26.7	6.7	13.3	6.7

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

今期(2023年7月～12月)の状況

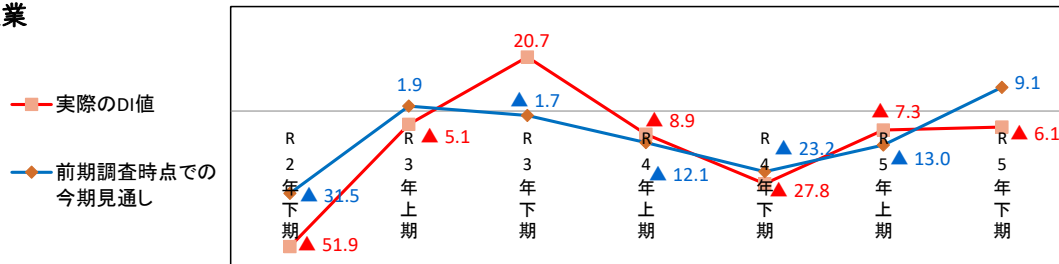
採算DI値は、製造業で▲6.1(前期比+1.2)、非製造業で13.9(前期比+16.1)、全業種で7.0(前期比+10.6)となった。製造業、非製造業ともに前期比で好転傾向が見られるものの、製造業では「原材料高」や「賃上げ」などの影響もあり、依然としてマイナス域(悪化、やや悪化)を脱するには至らなかった。

非製造業のうち、小売業、サービス業、その他業で前期比で大きく好転した要因として、「運賃交渉」や「価格改訂」など価格転嫁への取組ほか、「SNS活用により新規顧客が増加」、「人件費の削減」などの声が伺えた。

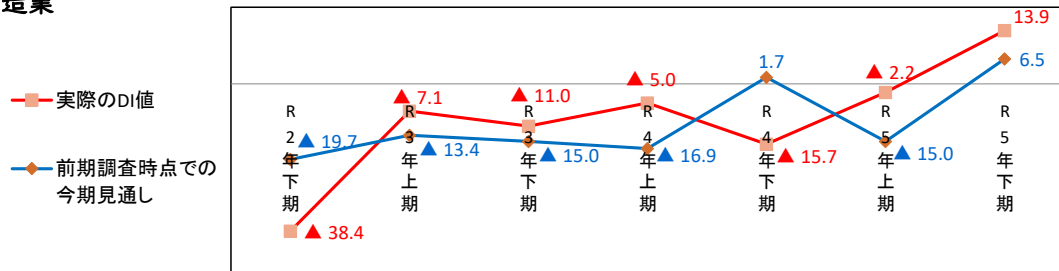
※前期比とは、前回調査(令和5年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業



非製造業



来期(2024年1月～6月)の見通しDI値

(採 算)

(単位:%)

全業種	(見通し 0.7 今期比 ▲6.3)	3.5	22.4	47.6	18.2	7.0	1.4
製造業	(見通し ▲2.1 今期比 4.0)	2.0	22.4	49.0	16.3	10.2	
非製造業	(見通し 2.2 今期比 ▲11.7)	4.3	22.3	46.8	19.1	5.3	2.1
建設業	(見通し 20.0 今期比 26.7)	6.7	40.0	26.7	26.7		
小売業	(見通し ▲20.0 今期比 ▲26.7)	13.3	53.3	33.3			
卸売業	(見通し 0.0 今期比 0.0)	7.1	14.3	57.1	21.4		
サービス業	(見通し 5.8 今期比 ▲19.9)	2.9	22.9	51.4	14.3	5.7	2.9
その他業	(見通し 0.0 今期比 ▲26.7)	6.7	20.0	40.0	6.7	20.0	6.7

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

今期と比較した来期(2024年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業で4.0ポイント改善の▲2.1、非製造業で11.7ポイントの悪化の2.2、全業種で6.3ポイント悪化の0.7と見通している。

製造業は今期比で改善傾向を示したものの、「原材料の価格高騰が継続」など経費の増加や「景気の低迷」などを理由に来期見通しもマイナス域(悪化、やや悪化)を脱すには至らなかった。また、今期大きく好転した小売業においても、物価上昇などを理由に再びマイナス域(悪化、やや悪化)へと落ち込むなど一進一退の不安定な状況が続く見通しとなった。

【資金繰りDI値】

今期(2023年7月～12月)のDI値

				(資金繰り)		(単位:%)	
全業種	(今期	0.0	前期比	2.0)	2.8	11.9	68.5
製造業	(今期	▲4.1	前期比	▲0.5)	12.2	69.4	14.3
非製造業	(今期	2.2	前期比	3.5)	4.3	11.7	68.1
建設業	(今期	13.3	前期比	2.1)	13.3	53.3	13.3
小売業	(今期	▲33.3	前期比	▲19.0)	6.7	53.3	40.0
卸売業	(今期	14.3	前期比	5.6)	21.4	71.4	7.1
サービス業	(今期	8.6	前期比	19.7)	2.9	11.4	80.0
その他業	(今期	0.1	前期比	▲11.9)	6.7	6.7	66.7

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不变 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

今期(2023年7月～12月)の状況

資金繰りDI値は、製造業で▲4.1(前期比▲0.5)、非製造業で2.2(前期比+3.5)、全業種で0.0(前期比+2.0)となった。

非製造業は主にサービス業において改善傾向が見られ、全体としてはプラス域(好転、やや好転)に転じたものの、小売業では前期比でマイナス傾向となり、厳しい資金繰りの状況が続いていることが伺えた。

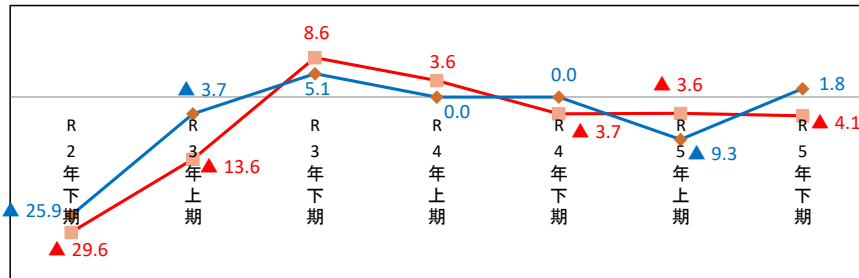
※前期比とは、前回調査(令和5年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

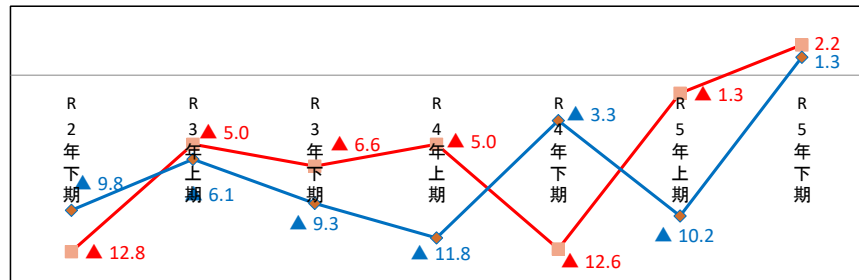
— 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での
今期見通し



来期(2024年1月～6月)の見通しDI値

				(資金繰り)		(単位:%)	
全業種	(見通し	0.7	今期比	0.7)	2.8	11.2	71.3
製造業	(見通し	▲6.2	今期比	▲2.1)	2.0	10.2	69.4
非製造業	(見通し	4.2	今期比	2.0)	3.2	11.7	72.3
建設業	(見通し	26.7	今期比	13.4)	6.7	26.7	53.3
小売業	(見通し	▲6.7	今期比	26.6)	13.3	66.7	20.0
卸売業	(見通し	7.1	今期比	▲7.2)	7.1	7.1	78.6
サービス業	(見通し	▲0.1	今期比	▲8.7)	11.4	77.1	8.6
その他業	(見通し	0.0	今期比	▲0.1)	6.7	6.7	80.0

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不变 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

今期と比較した来期(2024年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で2.1ポイント悪化の▲6.2、非製造業で2.0ポイント改善の4.2、全業種で0.7と見通している。全体としては、ほぼ横ばいの見通しとなったものの、製造業では今期に引き続き悪化傾向が続く見通し、また今期大きくマイナス傾向を示した小売業では、来期は改善傾向を示したもののマイナス域(悪化、やや悪化)を脱するまでには至らない見通しとなった。

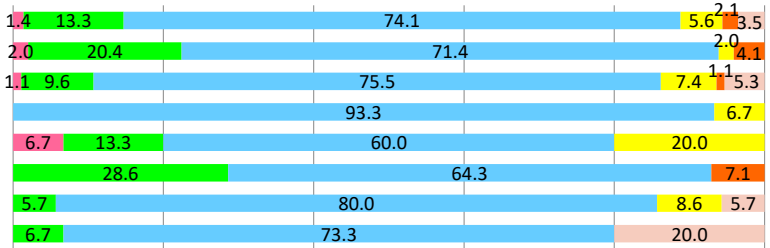
【在庫DI値】

今期(2023年7月～12月)のDI値

全業種	(今期 ▲7.0 前期比 2.3)
製造業	(今期 ▲16.3 前期比 0.0)
非製造業	(今期 ▲2.2 前期比 4.3)
建設業	(今期 6.7 前期比 17.8)
小売業	(今期 0.0 前期比 10.7)
卸売業	(今期 ▲21.5 前期比 0.2)
サービス業	(今期 2.9 前期比 5.1)
その他業	(今期 ▲6.7 前期比 ▲14.7)

(在庫)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期(2023年7月～12月)の状況

在庫DI値は、製造業で▲16.3(前期比0.0)、非製造業で▲2.2(前期比4.3)、全業種で▲7.0(前期比2.3)となった。製造業では、前期比で横ばいとなり、依然として在庫の過剰傾向が続いており、非製造業では全体として過剰傾向が続いているが、建設業、サービス業においては、前期の過剰傾向から今期は不足傾向へと転じた。

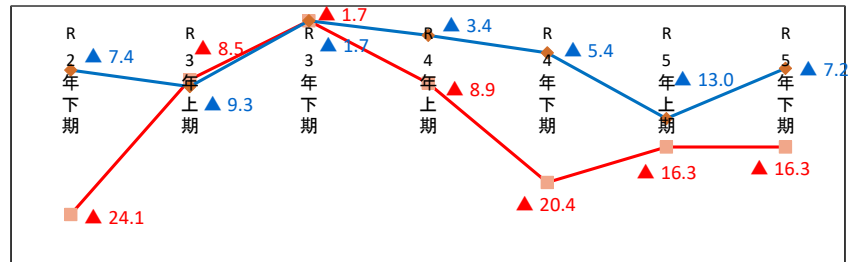
※前期比とは、前回調査(令和5年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

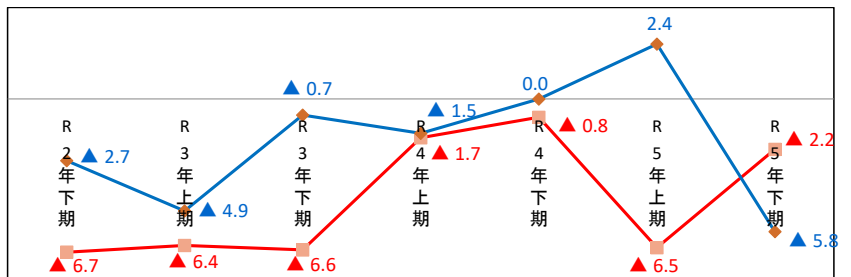
— 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での
今期見通し



来期(2024年1月～6月)の見通しDI値

全業種	(見通し ▲0.7 今期比 6.3)
製造業	(見通し ▲6.0 今期比 10.3)
非製造業	(見通し 2.1 今期比 4.3)
建設業	(見通し 6.7 今期比 0.0)
小売業	(見通し 13.4 今期比 13.4)
卸売業	(見通し ▲14.3 今期比 7.2)
サービス業	(見通し 5.7 今期比 2.8)
その他業	(見通し ▲6.7 今期比 0.0)

(在庫)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期と比較した来期(2024年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で10.3ポイント改善の▲6.0、非製造業で4.3ポイント改善の2.1、全業種で6.3ポイント改善の▲0.7と見通している。製造業では今期比で改善するもののマイナス域を脱せず過剰傾向が続く見通しとなった。非製造業では全体では不足傾向となったが、卸売業とその他業では引き続き過剰傾向が続く見通しとなった。

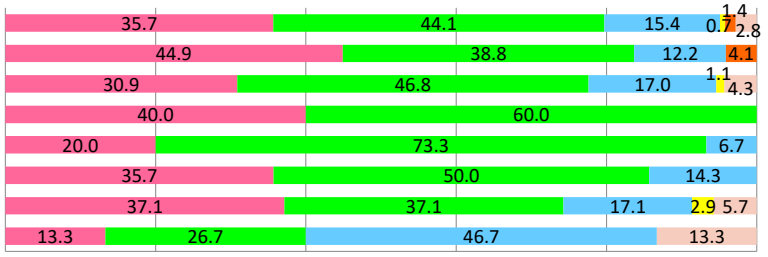
【仕入単価DI値】

今期(2023年7月～12月)のDI値

全業種	(今期 ▲77.7	前期比 ▲4.0)
製造業	(今期 ▲79.6	前期比 ▲6.9)
非製造業	(今期 ▲76.6	前期比 ▲2.5)
建設業	(今期 ▲100.0	前期比 ▲11.1)
小売業	(今期 ▲93.3	前期比 ▲11.2)
卸売業	(今期 ▲85.7	前期比 1.3)
サービス業	(今期 ▲71.3	前期比 ▲0.2)
その他業	(今期 ▲40.0	前期比 8.0)

(仕入単価)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期(2023年7月～12月)の状況

仕入単価DI値は、製造業で▲79.6(前期比▲6.9)、非製造業▲76.6(前期比▲2.5)、全業種で▲77.7(前期比▲4.0)となった。製造業、非製造業ともに前期比マイナスとなり、前期調査時点での今期の見通しを下回る結果となり、仕入単価の更なる上昇が続いていることが伺えた。非製造業では、建設業、小売業、サービス業で前期比マイナスとなり、上昇傾向がますます強まった結果となった。

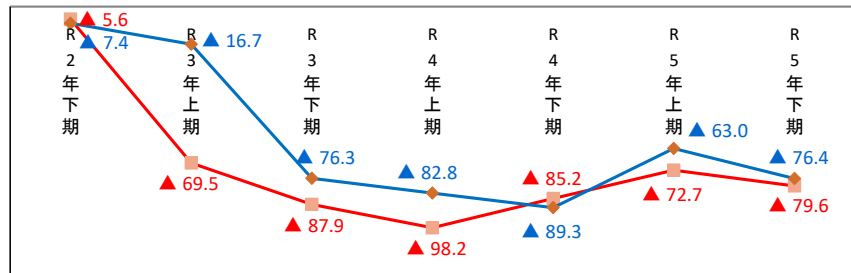
※前期比とは、前回調査(令和5年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■ 実際のDI値

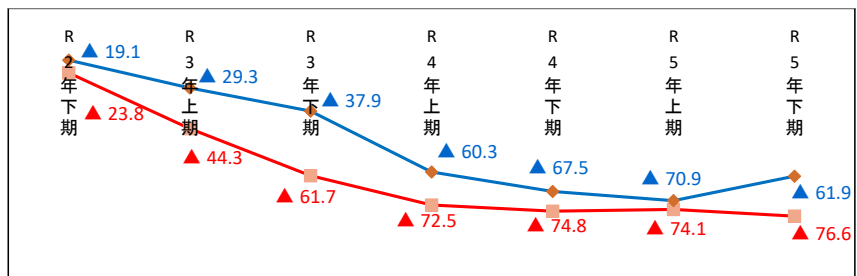
■ 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

■ 実際のDI値

■ 前期調査時点での
今期見通し

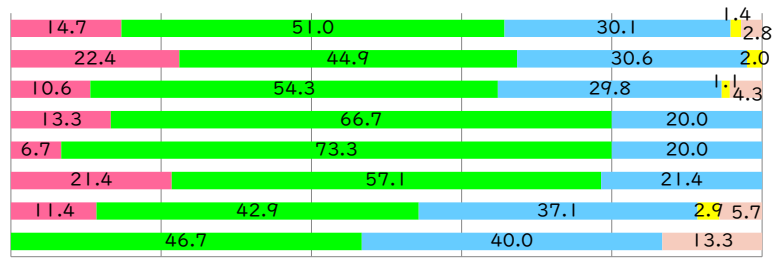


来期(2024年1月～6月)の見通しDI値

全業種	(見通し ▲64.3	今期比 13.4)
製造業	(見通し ▲65.3	今期比 14.3)
非製造業	(見通し ▲63.8	今期比 12.8)
建設業	(見通し ▲80.0	今期比 20.0)
小売業	(見通し ▲80.0	今期比 13.3)
卸売業	(見通し ▲78.5	今期比 7.2)
サービス業	(見通し ▲51.4	今期比 19.9)
その他業	(見通し ▲46.7	今期比 ▲6.7)

(仕入単価)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期と比較した来期(2024年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で14.3ポイント改善の▲65.3、非製造業で12.8ポイント改善の▲63.8、全業種で13.4ポイント改善の▲64.3と見通している。製造業、非製造業ともに今期比プラス(その他業を除く)となり、来期における上昇傾向はやや落ち着く見通しとなったが、依然大幅なマイナス域(上昇、やや上昇)で推移し、今後も利益率の圧迫など影響は続くものと考えられる。

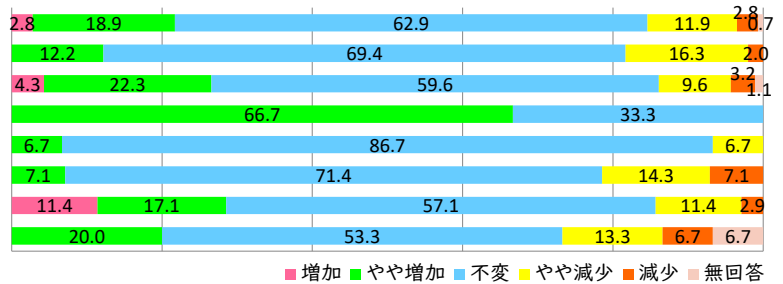
【 従業員数DI値 】

今期（2023年7月～12月）のDI値

全業種	（今期 7.0 前期比 0.9）
製造業	（今期 ▲6.1 前期比 ▲6.1）
非製造業	（今期 13.8 前期比 5.2）
建設業	（今期 66.7 前期比 55.6）
小売業	（今期 0.0 前期比 17.9）
卸売業	（今期 ▲14.3 前期比 ▲18.6）
サービス業	（今期 14.2 前期比 ▲8.0）
その他業	（今期 0.0 前期比 ▲16.0）

（従業員数）

（単位：%）



今期（2023年7月～12月）の状況

従業員数DI値は、製造業で▲6.1（前期比▲6.1）、非製造業で13.8（前期比+5.2）、全業種で7.0（前期比+0.9）となった。前期は製造業、非製造業ともに増加傾向であったが、今期は製造業で減少傾向を示し再びマイナス域に転じ、非製造業のうち建設業では大幅に増加傾向を示すなど全体では増加傾向を示したが、卸売業、サービス業、その他業では減少傾向となった。従業員過不足DI値については、全業種43.4で前期34.6を上回り、引き続き「人手不足」が深刻な経営課題となっていることが伺えた。

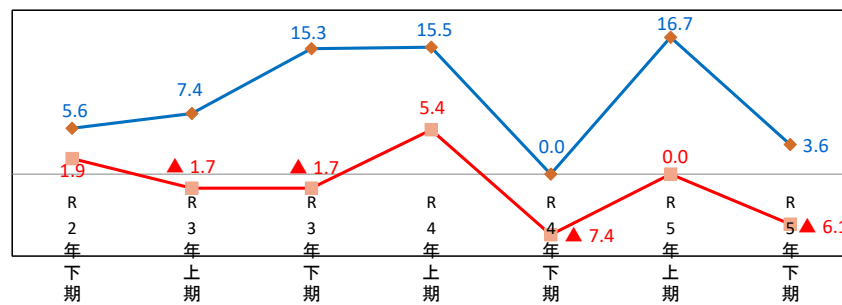
※前期比とは、前回調査（令和5年6月実施）のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

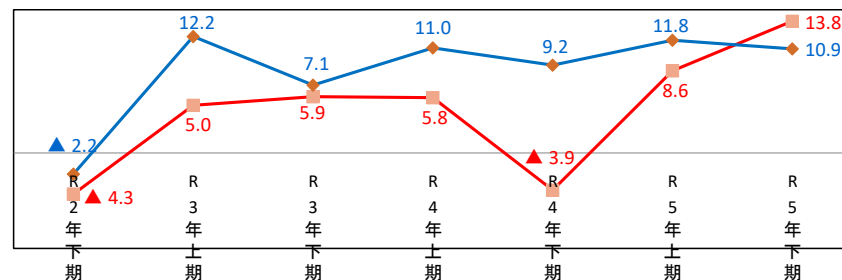
— 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での
今期見通し

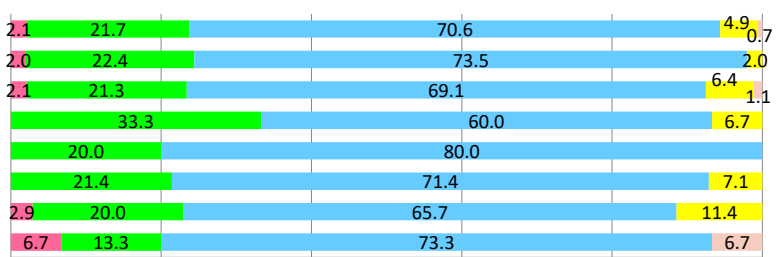


来期（2024年1月～6月）の見通しDI値

全業種	（見通し 18.9 今期比 11.9）
製造業	（見通し 22.4 今期比 28.5）
非製造業	（見通し 17.0 今期比 3.2）
建設業	（見通し 26.6 今期比 ▲40.1）
小売業	（見通し 20.0 今期比 20.0）
卸売業	（見通し 14.3 今期比 28.6）
サービス業	（見通し 11.5 今期比 ▲2.7）
その他業	（見通し 20.0 今期比 20.0）

（従業員数）

（単位：%）



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期と比較した来期（2024年1月～6月）の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で28.5ポイント上昇の22.4、非製造業で3.2ポイント上昇の17.0、全業種では11.9ポイント上昇の18.9と見通している。製造業では今期比で大きく増加傾向を示し、非製造業でも建設業とサービス業では今期比で減少傾向を示したが、全ての業種でプラス域（増加、やや増加）となり、全体としては今期比でやや増加傾向となった。従業員の過不足については、来期においても全業種DI値+35.0で不足の見通しとなっており、全体として従業員の増加を見通しているものの「人手不足」の解消には至らず、引き続き深刻な課題と捉えられていることが伺えた。

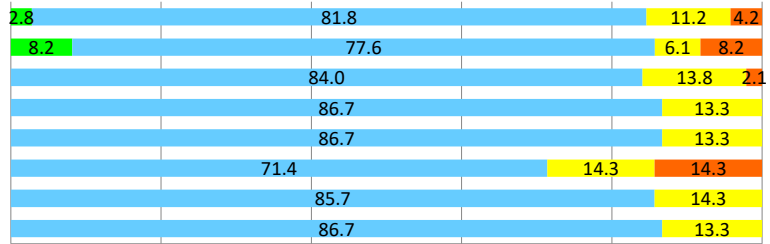
【設備DI値】

今期（2023年7月～12月）のDI値

全業種	（今期	12.6	前期比	3.8）
製造業	（今期	6.1	前期比	0.6）
非製造業	（今期	15.9	前期比	5.8）
建設業	（今期	13.3	前期比	7.8）
小売業	（今期	13.3	前期比	2.6）
卸売業	（今期	28.6	前期比	15.6）
サービス業	（今期	14.3	前期比	▲1.3）
その他業	（今期	13.3	前期比	13.3）

（設備）

（単位：%）



■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期（2023年7月～12月）の状況

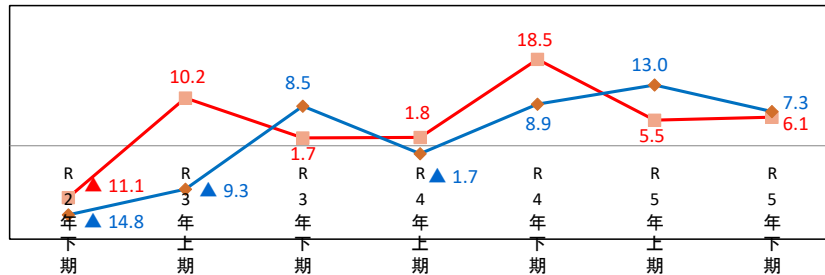
設備DI値は、製造業で6.1（前期比+0.6）、非製造業で15.9（前期比+5.8）、全業種で12.6（前期比+3.8）となった。製造業、非製造業ともにプラス域で推移し、前期に引き続き設備不足の傾向がうかがえ、非製造業のうち、とりわけ卸売業とその他業では前期に比べ不足傾向が強まった。

※前期比とは、前回調査（令和5年6月実施）のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

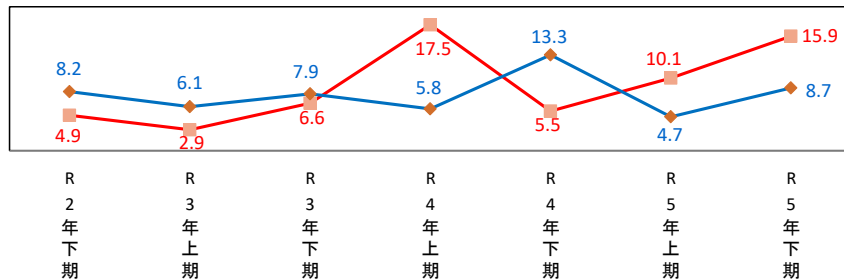
製造業

■ 実際のDI値
● 前期調査時点での今期見通し



非製造業

■ 実際のDI値
● 前期調査時点での今期見通し

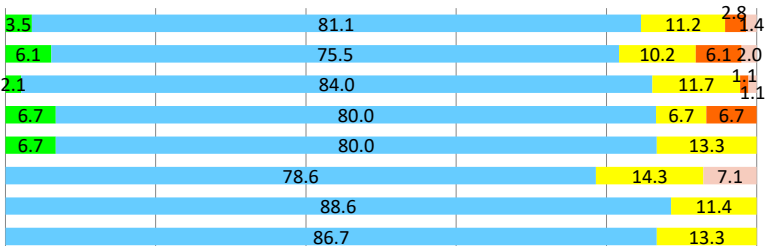


来期（2024年1月～6月）の見通しDI値

全業種	（見通し	10.5	今期比	▲2.1）
製造業	（見通し	10.2	今期比	4.1）
非製造業	（見通し	10.7	今期比	▲5.2）
建設業	（見通し	6.7	今期比	▲6.6）
小売業	（見通し	6.6	今期比	▲6.7）
卸売業	（見通し	14.3	今期比	▲14.3）
サービス業	（見通し	11.4	今期比	▲2.9）
その他業	（見通し	13.3	今期比	0.0）

（設備）

（単位：%）



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

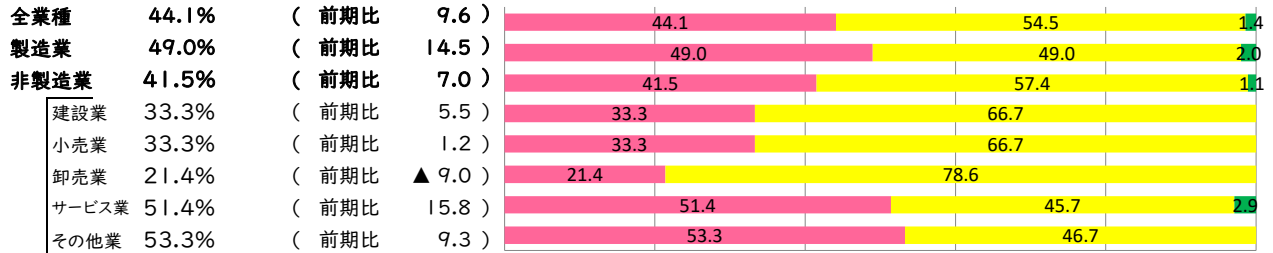
今期と比較した来期（2024年1月～6月）の見通し

今期と比べた来期の見通しDI値は、製造業で+4.1ポイントの10.2、非製造業で▲5.2ポイントの10.7、全業種で▲2.1ポイントの10.5と見通しており、来期においても製造業、非製造業ともに設備不足の見通しとなった。

【 新規設備投資 】

◆ 今期（2023年7月～12月）の新規設備投資を実施した割合

（単位：％）



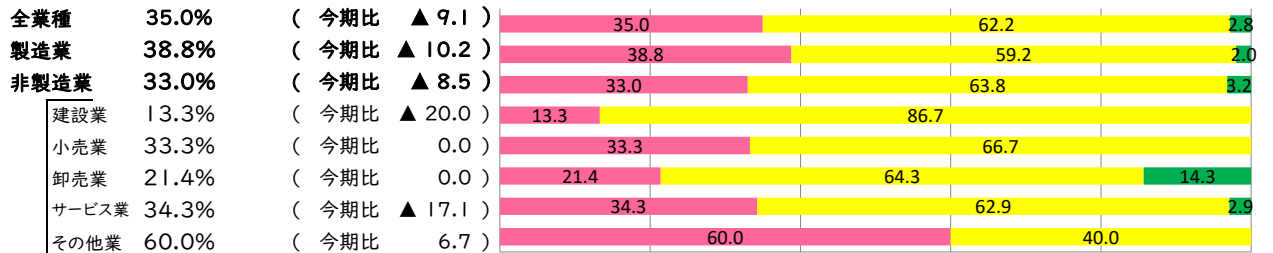
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

※前期比とは、前回調査（令和5年6月実施）のDI値と今期を比較した増減です。

◆ 来期（2024年1月～6月）の新規設備投資を計画している割合

（単位：％）



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

【 直面している課題 】

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	2.0%	5.3%	6.7%	0.0%	7.1%	8.6%	0.0%
需要の停滞	② 34.7%	17.0%	26.7%	③ 20.0%	② 28.6%	8.6%	13.3%
為替差損	6.1%	2.1%	0.0%	6.7%	7.1%	0.0%	0.0%
売上単価の低下	8.2%	3.2%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
新規参入業者の増加	2.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	5.7%	0.0%
製品（消費者・利用者等）ニーズの変化への対応	10.2%	10.6%	0.0%	② 26.7%	7.1%	8.6%	13.3%
生産設備の不足・老朽化	16.3%	5.3%	0.0%	0.0%	7.1%	5.7%	13.3%
原材料の不足	4.1%	3.2%	0.0%	6.7%	0.0%	5.7%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	① 53.1%	② 35.1%	③ 46.7%	① 53.3%	① 35.7%	③ 28.6%	③ 20.0%
下請負単価の上昇	2.0%	14.9%	① 60.0%	0.0%	14.3%	5.7%	6.7%
官公需要の停滞	4.1%	5.3%	6.7%	6.7%	14.3%	2.9%	0.0%
取引条件の悪化	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	7.1%	2.9%	6.7%
金利負担の増加	0.0%	3.2%	0.0%	③ 20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業資金の借入難	2.0%	5.3%	6.7%	13.3%	7.1%	2.9%	0.0%
購買力の他地域への流出	0.0%	3.2%	0.0%	13.3%	7.1%	0.0%	0.0%
在庫の過剰	2.0%	1.1%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
価格への転嫁難	16.3%	10.6%	13.3%	6.7%	③ 21.4%	8.6%	6.7%
人件費の増加	28.6%	③ 26.6%	26.7%	6.7%	0.0%	② 40.0%	② 40.0%
設備の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
代金回収の悪化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
駐車場の確保難	4.1%	3.2%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%	6.7%
店舗・施設の老朽化	6.1%	7.4%	6.7%	13.3%	0.0%	8.6%	6.7%
従業員・熟練技術者の確保難	③ 32.7%	① 39.4%	② 53.3%	② 26.7%	③ 21.4%	① 42.9%	① 46.7%
燃料費（電気料金を含む）の高騰	10.2%	16.0%	13.3%	6.7%	7.1%	14.3%	② 40.0%
コロナの影響	2.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%
ウクライナ情勢の影響	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	6.1%	6.4%	6.7%	6.7%	0.0%	8.6%	6.7%

参考資料

小規模事業者（従業員：製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下）
※宿泊業および娯楽業は20人以下
景況調査結果

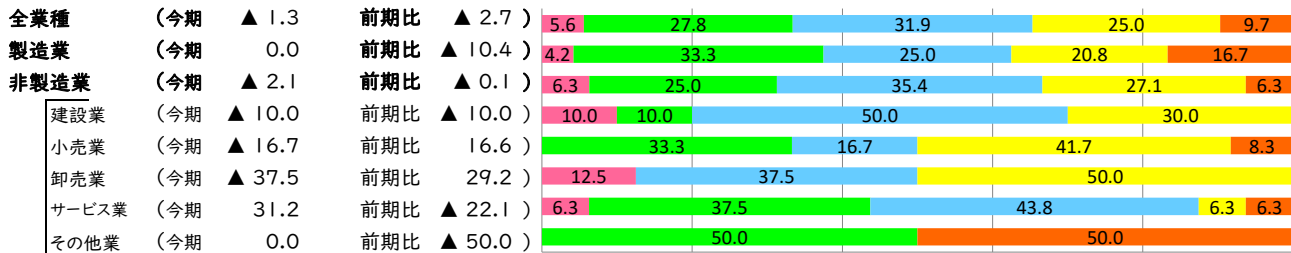
- 目的：当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間：2023年7月1日から2023年12月31日（2023年（令和5年）下期）
- 調査実施期間：2023年12月15日から2024年1月19日
- 調査方法：郵送によるアンケート方式
- 調査対象：当所管内会員事業所の小規模事業者（従業員数が製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下） 345 事業所 ※宿泊業および娯楽業は20人以下
- 回答数：72（回答率 20.9%）

業種		従業員数	0～5人	6～20人	合計
製造業			9	15	24
非製造業	建設業		3	7	10
	小売業		12		12
	卸売業		8		8
	サービス業		15	1	16
	その他業		2		2
合計			49	23	72

業況DI

今期（2023年7月～12月）のDI値

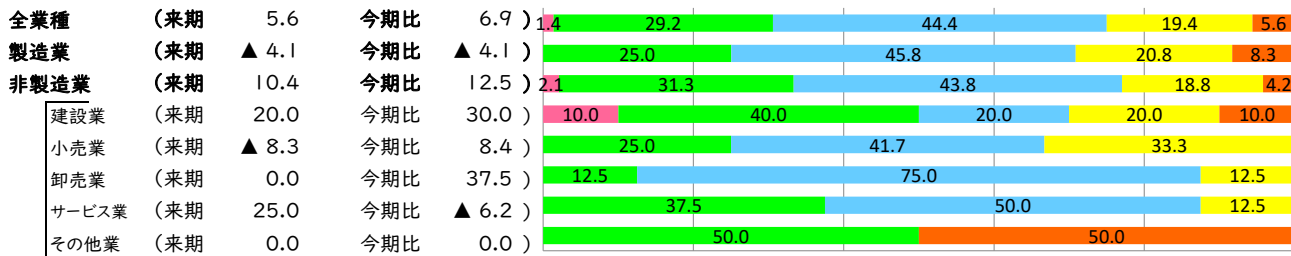
（業況）（単位：%）



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

来期（2024年1月～6月）の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

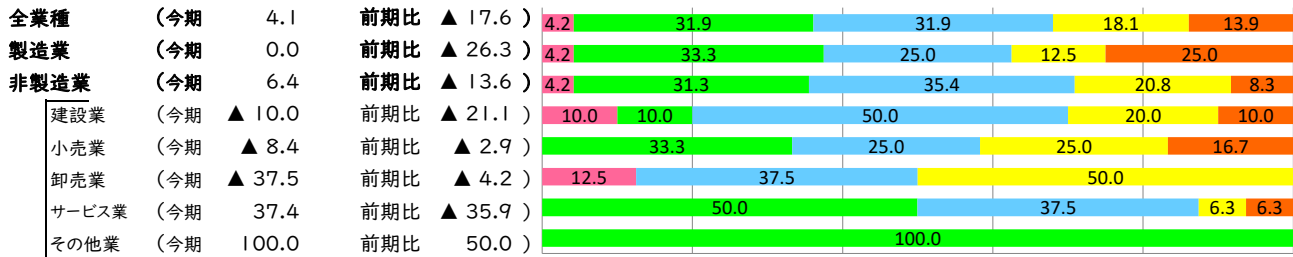
■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

売上DI

今期(2023年7月~12月)のDI値

(売上)

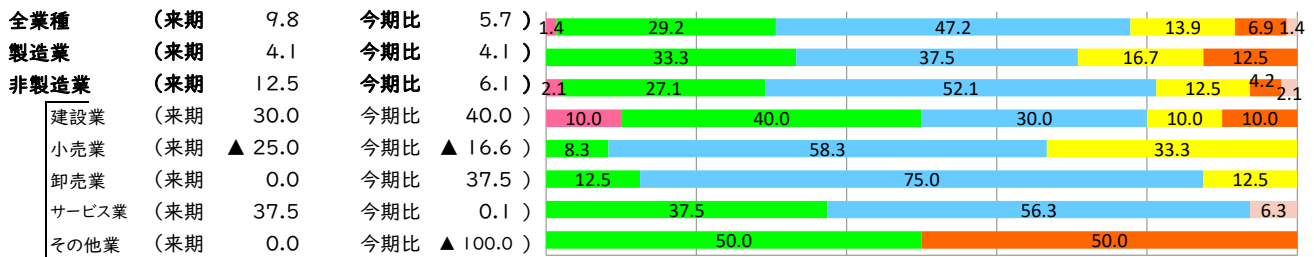
(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■増加 ■やや増加 ■不変 ■やや減少 ■減少 ■無回答

来期(2024年1月~6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

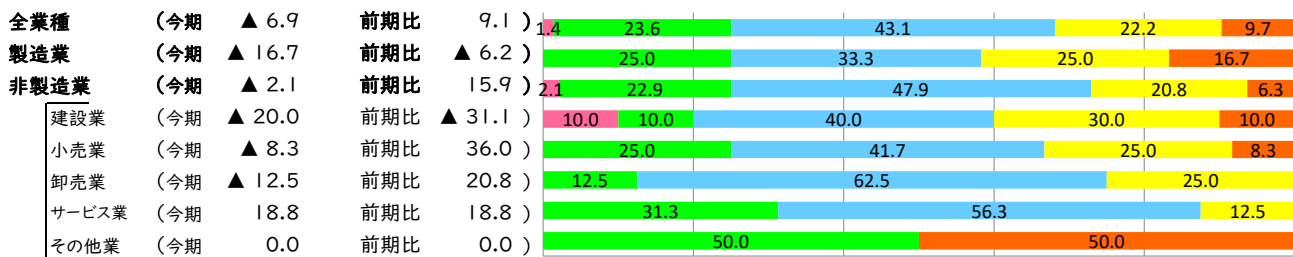
■増加 ■やや増加 ■不変 ■やや減少 ■減少 ■無回答

採算DI

今期(2023年7月~12月)のDI値

(採算)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

来期(2024年1月~6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

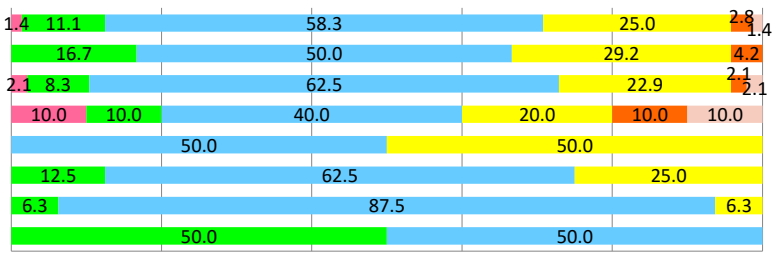
資金繰りDI

今期(2023年7月~12月)のDI値

全業種	(今期 ▲15.3	前期比 0.7)
製造業	(今期 ▲16.7	前期比 9.7)
非製造業	(今期 ▲14.6	前期比 ▲2.6)
建設業	(今期 ▲10.0	前期比 ▲21.1)
小売業	(今期 ▲50.0	前期比 ▲27.8)
卸売業	(今期 ▲12.5	前期比 4.2)
サービス業	(今期 0.0	前期比 13.3)
その他業	(今期 50.0	前期比 50.0)

(資金繰り)

(単位:%)

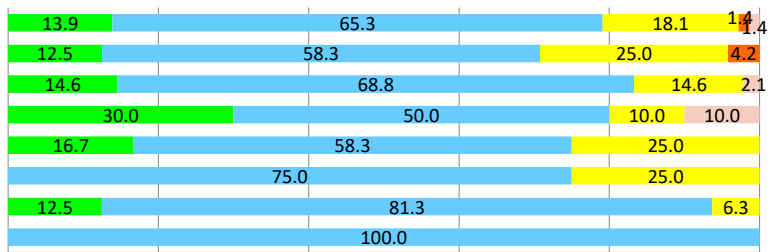


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

来期(2024年1月~6月)の見通しDI値

全業種	(来期 ▲5.6	今期比 9.7)
製造業	(来期 ▲16.7	今期比 0.0)
非製造業	(来期 0.0	今期比 14.6)
建設業	(来期 20.0	今期比 30.0)
小売業	(来期 ▲8.3	今期比 41.7)
卸売業	(来期 ▲25.0	今期比 ▲12.5)
サービス業	(来期 6.2	今期比 6.2)
その他業	(来期 0.0	今期比 ▲50.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

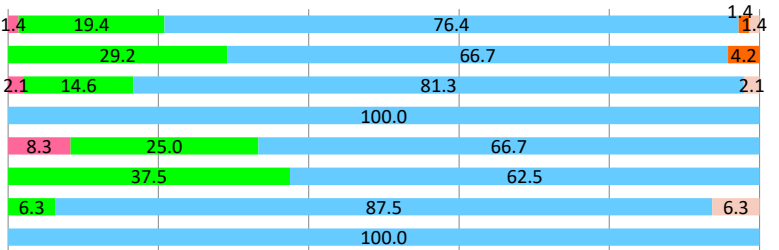
在庫DI

今期(2023年7月~12月)のDI値

全業種	(今期 ▲19.4	前期比 ▲7.9)
製造業	(今期 ▲25.0	前期比 ▲9.1)
非製造業	(今期 ▲16.7	前期比 ▲6.7)
建設業	(今期 0.0	前期比 22.2)
小売業	(今期 ▲33.3	前期比 ▲11.1)
卸売業	(今期 ▲37.5	前期比 ▲20.8)
サービス業	(今期 ▲6.3	前期比 ▲12.9)
その他業	(今期 0.0	前期比 ▲50.0)

(在庫)

(単位:%)

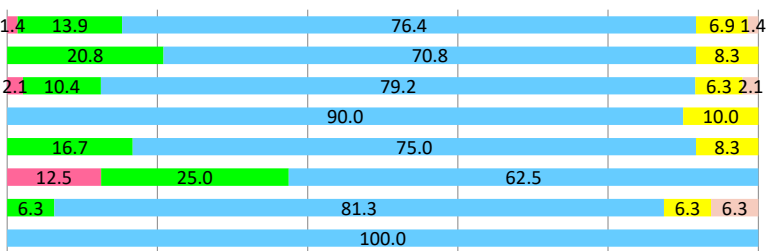


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■過剰 ■やや過剰 ■適正 ■やや不足 ■不足 ■無回答

来期(2024年1月~6月)の見通しDI値

全業種	(来期 ▲8.4	今期比 11.0)
製造業	(来期 ▲12.5	今期比 12.5)
非製造業	(来期 ▲6.2	今期比 10.5)
建設業	(来期 10.0	今期比 10.0)
小売業	(来期 ▲8.4	今期比 24.9)
卸売業	(来期 ▲37.5	今期比 0.0)
サービス業	(来期 0.0	今期比 6.3)
その他業	(来期 0.0	今期比 0.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■過剰 ■やや過剰 ■適正 ■やや不足 ■不足 ■無回答

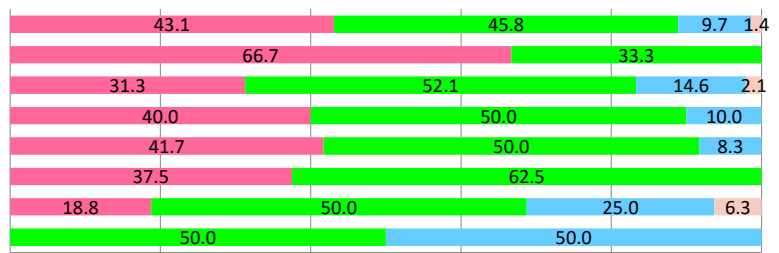
仕入単価DI

今期（2023年7月～12月）のDI値

全業種	（今期 ▲88.9	前期比 ▲13.5）
製造業	（今期 ▲100.0	前期比 ▲15.8）
非製造業	（今期 ▲83.4	前期比 ▲11.4）
建設業	（今期 ▲90.0	前期比 ▲12.2）
小売業	（今期 ▲91.7	前期比 ▲19.5）
卸売業	（今期 ▲100.0	前期比 ▲16.7）
サービス業	（今期 ▲68.8	前期比 4.5）
その他業	（今期 ▲50.0	前期比 ▲50.0）

（仕入単価）

（単位：%）



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

来期（2024年1月～6月）の見通しDI値

全業種	（来期 ▲69.4	今期比 19.5）
製造業	（来期 ▲70.8	今期比 29.2）
非製造業	（来期 ▲68.8	今期比 14.6）
建設業	（来期 ▲60.0	今期比 30.0）
小売業	（来期 ▲83.3	今期比 8.4）
卸売業	（来期 ▲100.0	今期比 0.0）
サービス業	（来期 ▲50.1	今期比 18.7）
その他業	（来期 ▲50.0	今期比 0.0）



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

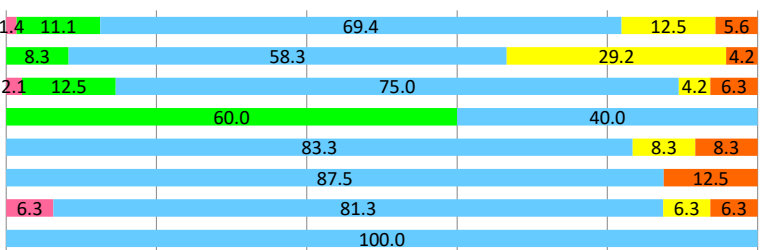
従業員数DI

今期（2023年7月～12月）のDI値

全業種	（今期 ▲5.6	前期比 ▲7.1）
製造業	（今期 ▲25.1	前期比 ▲19.8）
非製造業	（今期 4.1	前期比 0.1）
建設業	（今期 60.0	前期比 48.9）
小売業	（今期 ▲16.6	前期比 ▲16.6）
卸売業	（今期 ▲12.5	前期比 4.2）
サービス業	（今期 ▲6.3	前期比 ▲19.6）
その他業	（今期 0.0	前期比 0.0）

従業員数

（単位：%）

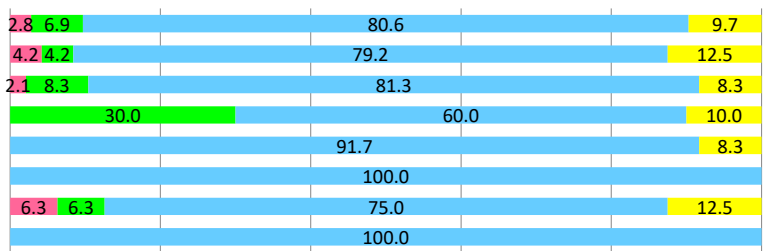


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

来期（2024年1月～6月）の見通しDI値

全業種	（来期 0.0	今期比 5.6）
製造業	（来期 ▲4.1	今期比 21.0）
非製造業	（来期 2.1	今期比 ▲2.0）
建設業	（来期 20.0	今期比 ▲40.0）
小売業	（来期 ▲8.3	今期比 8.3）
卸売業	（来期 0.0	今期比 12.5）
サービス業	（来期 0.1	今期比 6.4）
その他業	（来期 0.0	今期比 0.0）

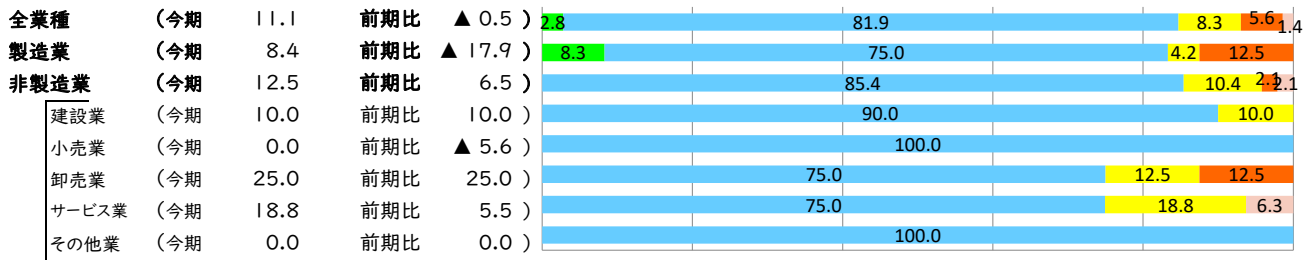


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

設備DI

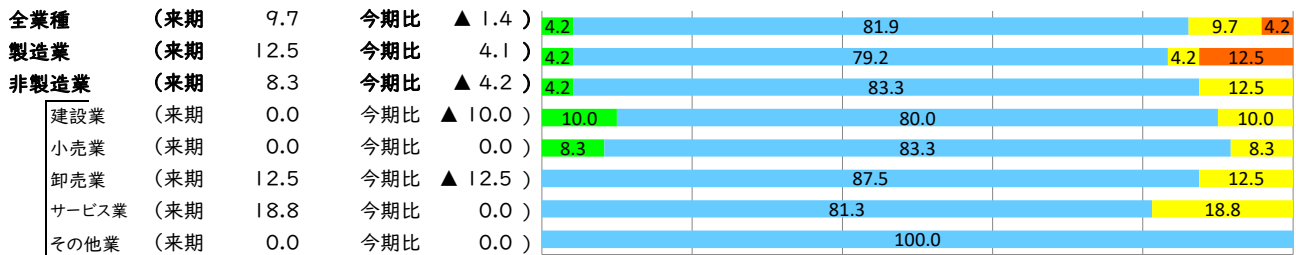
今期(2023年7月~12月)のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

来期(2024年1月~6月)の見通しDI値

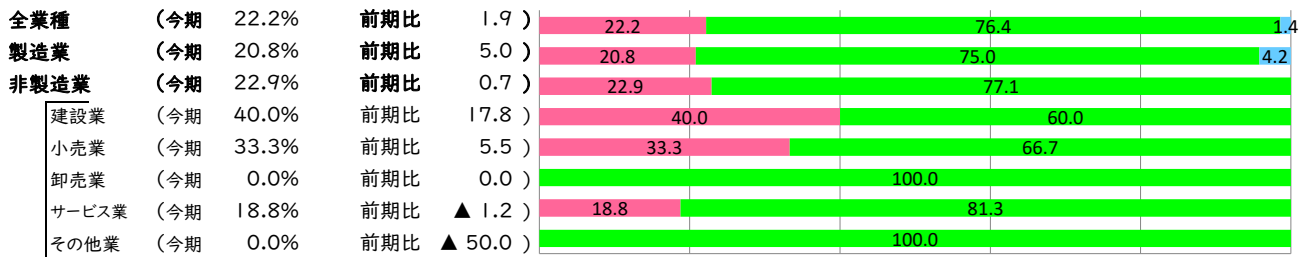


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

新規設備投資

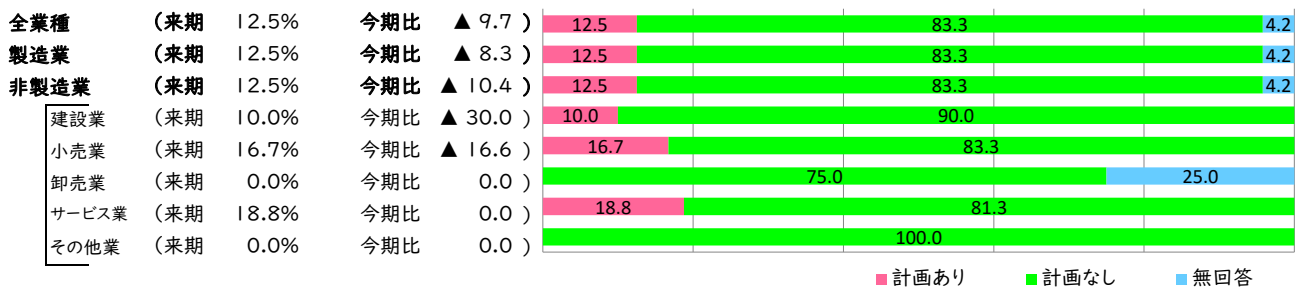
◆今期(2023年7月~12月)の新規設備投資を実施した割合



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

◆来期(2024年1月~6月)の新規設備投資を計画している割合



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

直面している課題

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	4.2%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%
需要の停滞	③ 29.2%	③ 31.3%	② 40.0%	② 25.0%	② 25.0%	③ 31.3%	① 50.0%
為替差損	4.2%	4.2%	0.0%	8.3%	③ 12.5%	0.0%	0.0%
売上単価の低下	4.2%	6.3%	20.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%
新規参入業者の増加	4.2%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%
製品（消費者・利用者等）ニーズの変化への対応	8.3%	10.4%	0.0%	② 25.0%	③ 12.5%	6.3%	0.0%
生産設備の不足・老朽化	12.5%	4.2%	0.0%	8.3%	0.0%	6.3%	0.0%
原材料の不足	4.2%	2.1%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	① 62.5%	① 52.1%	② 40.0%	① 83.3%	① 62.5%	② 37.5%	0.0%
下請負単価の上昇	0.0%	8.3%	30.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%
官公需要の停滞	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
取引条件の悪化	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	① 50.0%
金利負担の増加	4.2%	4.2%	0.0%	8.3%	0.0%	6.3%	0.0%
事業資金の借入難	4.2%	8.3%	20.0%	8.3%	③ 12.5%	0.0%	0.0%
購買力の他地域への流出	0.0%	4.2%	0.0%	③ 16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
在庫の過剰	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
価格への転嫁難	8.3%	10.4%	10.0%	8.3%	③ 12.5%	12.5%	0.0%
人件費の増加	20.8%	20.8%	30.0%	0.0%	0.0%	① 43.8%	0.0%
設備の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
代金回収の悪化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
駐車場の確保難	8.3%	2.1%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
店舗・施設の老朽化	12.5%	6.3%	0.0%	8.3%	0.0%	12.5%	0.0%
従業員・熟練技術者の確保難	② 45.8%	② 35.4%	① 60.0%	8.3%	② 25.0%	① 43.8%	① 50.0%
燃料費（電気料金を含む）の高騰	0.0%	16.7%	20.0%	② 25.0%	0.0%	12.5%	① 50.0%
コロナの影響	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ウクライナ情勢の影響	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	8.3%	10.0%	8.3%	0.0%	6.3%	① 50.0%